

内野真悠

今回は、初めて報道記者として気候変動の取材をさせてもらいました！

鹿児島大学のしみず教授から、2050年には温暖化のせいでキリバスという国が海にしずむということを知りました。

そして、2100年には気温が最大5.7度上がり、海も1メートルぐらい上がると言われているということも知りました。

とにかくこのままの生活を続けていると地球が大変なことになると思いました。そして、少しでも早く温暖化を止めないといけないと思いました。

私がまず考えたのは、二酸化炭素を取り込む機械を作ったら良いと思いました。

それから、ケナフという植物は普通の木より二酸化炭素を3~4倍吸ってくれるということを知ったので、町の道路沿いの木を全てそれに植え替えたり、みんなの家の庭に植えたりするようにしたら良いと思いました。

この取材で、地球の温暖化の深刻さが良く分かりました。なので、このままの生活を続けていくと、未来がどうなっていくかの動画を作って、CMなどほとんどの人が自然に見られるようにして、まず皆に意識してもらわないといけないと思いました。

そうすると、ゴミを減らしたり、節電をしたりなど、皆が地球にやさしい行動を心がけるようになるんじゃないかなと思いました。